



仲町の家
NAKACHO HOUSE

NAKACHO PRESS

秋号

仲町の家だより
2022.10月発行

今号は去る8月27日(土)、28日(日)に仲町の家パイロットプログラムとして開催したPerformance Labによる『Crystal Clear』のレポートを掲載。多くの来場者を迎え、大好評の内に閉幕したパフォーマンスとアートの2日間。Performance Labが試みた遊び心あふれる「仲町の家」という場の再考とは!?

千住の文化サロン
「仲町の家」

入場無料

WEB SITE



@NakachoHouse



@nakacho_no_ie



【オープン】

土日月祝 10:00 - 17:00

※年末年始・夏季休業あり

【アクセス】

東京都足立区千住仲町 29-1

北千住駅西口・千住大橋駅より徒歩約10分

仲町氷川神社向かい

【お問い合わせ】

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局

03-6806-1740 (13:00 - 18:00、火・木除く)

info@aaa-senju.com

※ 個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

※ 開室状況やイベント内容は社会状況等に応じて変更になる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら運営しています。事前にHPやSNSで情報を確認の上、お越しください。

アートアクセスあだち 音まち千住の縁/通称「音まち」

アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにさまざまなまちなかプログラムを展開しています。

【主催】

東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

Performance Lab / 特集：『Crystal Clear』開催レポート



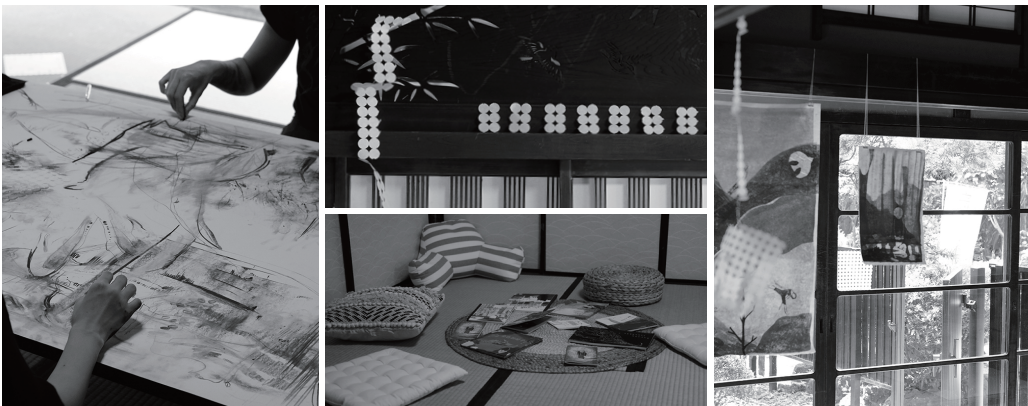
今回の企画は、東京藝術大学の領域が異なる国際色豊かな学生と卒業生からなるグループ・Performance Labによる初のイベント。彼らは、視覚芸術、ダンス、演劇、音楽、キュレトリアルなど、さまざまな分野からパフォーマンスに対しての考察・実験をしています。

今回開催した『Crystal Clear』では、パフォーマンスとインタラクティブ・インスタレーションによる身体的な実験を通して、いらしたお客様と一緒に感覚と記憶のつながりについて探求することを目指したといます。

例えば、2人のアーティスト・珍熙と Lea Embeliによる木炭を使ったパフォーマンス・ペインティングでは、その時に彼女たちが感じた「仲町の家」ならではの空気感や来場者との対話をインスピレーションに作品を即興的に描いていきました。

他にも、会場入り口付近に置いてあるレーザーカットされた紙を来場者が自由に折るなど形を変えて、好きな場所に置いていく、Chloe Paréによるインタラクティブ・インスタレーションなど、来場者の潜在的な創造性を促す仕掛けがある参加型作品があったりと、バリエーション豊かで楽しい会場になりました。来場者からも「新しい発見と驚きがあった」など、素敵な感想をいただきました。Performance Labの遊び心あふれる独特な視点から、新たな空間としての「仲町の家」が再考・再発見できた、そんなイベントとなった気がします。今後の彼らの面白い実験に期待が膨らみます!

(学生担当・相)



Performance Lab Q&A

Q1. 『Crystal Clear』というタイトルについて

"Crystal Clear" は、結晶の透明度に例えて、「明確性」を表す英語の表現です。しかし実際は、結晶には様々な形があり、種類によっては全く透明でないものもあります。人々はしばしば明確な記憶について話しますが、実際の記憶はもともと形がなく、曖昧で不完全なものです。そんな記憶というもののあり方の可能性を探りたいという思いを込めてこのタイトルを付けました。

Q3. 開催してみた感想

仲町の家でイベントを開催することができて、本当に良かったと思います。空間そのものがアーティストにとって大きな刺激となりました。私自身日本でのアートイベントの制作は初めてだったため、仲町の家スタッフの方々のサポートにとっても感謝しています。仲町の家という空間が、アーティストと参加者をつなぐ素晴らしい環境づくりに貢献していると感じています。

Performance Lab 『Crystal Clear』

2022年8月27日(土) - 28日(日) 仲町の家にて開催

主催：Performance Lab (instagram:@_performancelab_geidai)

参加メンバー：Gamze Baktir, Dan Dagondon, 珍熙, Ila Jerašević, Lea Embeli, Sun Kim, Benjamin Korman, Alissa Osada-Phornsiri, Chloe Paré, Efrat Arielle Peleg, Finn Ryan, Thomas Vauthier+Fanny

Alissa Osada-Phornsiri

東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科アートプロデューサー 専攻2年。日本における音楽ワークショップとアクセシビリティについて研究している。Performance Labのメンバー。『Crystal Clear』では制作を担当。

Q2. 「仲町の家」への印象

仲町の家はアートを展示できるスペースだけでなく、人々が自由に行き来できるコミュニティスペースでもあります。空間自体が刺激的で、内側と外側の素晴らしいバランスが保たれているので、(ここにいると)なぜか自分の家にいるように感じて心が落ち着きました。この空間で私たちが探求したい新しいタイプのつながりが生まれるのではと思い、開催に至りました。

Q4. 今後の展望

今回の経験から学んだことを活かして、今後より良いイベントを企画していきたいと思っています。新学期が始まったら、週1回のセッションを再開し、様々なテーマや芸術表現・実践を試し、探求していきます。また、音まち主催のイベント「1DAY パフォーマンス表現街」にも参加する予定なので、また皆様にお会いできることを楽しみにしています。

2022 年秋開催の イベント Pick Up

仲町の家では、さまざまな方々や団体と共に
家の活用法や可能性を探っていく
「仲町の家パイロットプログラム」を開催しています。



— いらぬいそがぬかよわぬのこえ —
— 不要不急不通え声 —

ともえ —いらぬいそがぬかよわぬのこえ—
そもさん『巴 — 不要不急不通之声 —』

「物語の地産地消」演劇

北千住で100年の歴史を持つ古民家・仲町の家。
そこで生まれた物語を上演するのは仲町の家と縁も
ゆかりもない人ら。趣深い日本家屋で思慮浅く人の
営みを垣間見た・聞いた話を演劇にして上演します。

開催日時：2022年11月11日(金)～13日(日)

・11月11日(金) ①14時～ ②16時～

・11月12日(土) ①14時～ ②16時～

・11月13日(日) ①16時～

※開場は各公演の30分前

チケット：1,500円(当日現金でのお支払い)

予約：QRコードのリンクより(先着順)

主催・企画・製作：そもさんせつぱ

MAIL: somosan03@gmail.com

WEB: <https://somasan03.studio.site/>



予約はこちらより

そもさん

慶應義塾大学の落語研究会で出会ったメンバーを中心に集まった演劇集団。笑いと？男とは？女とは？酒とは？社会とは？人生とは？到底「せつぱ」できないお題に対して、日夜及び腰で「そ、そもさん！」とメンバー同士で投げかけあう。答えではなく考える過程を大事にすると言えば聞こえがいいが、悪く言えば煮え切らない連中である。全員アラサー。

ご注意：公演期間中、ご予約の方以外の仲町の家への一般の入場は下記の通り一部変更となりますのでご注意ください。

・11月11日(金)

ご予約の方のみ開場時間からご入場可

・11月12日(土) 一般開室：10時～13時30分

・11月13日(日) 一般開室：10時～15時30分

※本企画は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁 拠点形成事業 パイロットプログラム」の一環で実施しています。